

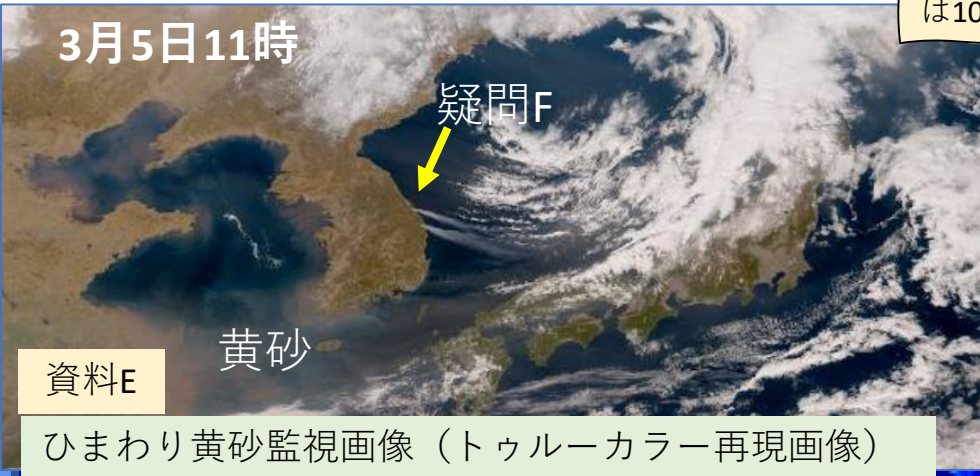
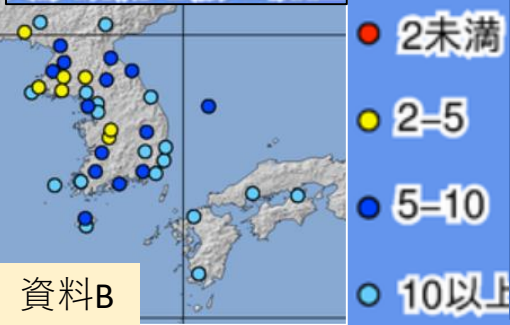
エアロゾル 黄砂 山火事

エアロゾル指数(AI)は、大気中の砂漠のちり・ほこりや火山の噴煙などエアロゾルの高層の存在を示す指標です。ここでは黄砂を示します
単位「nm」(ナノメートル)は10億分の1メートルです。

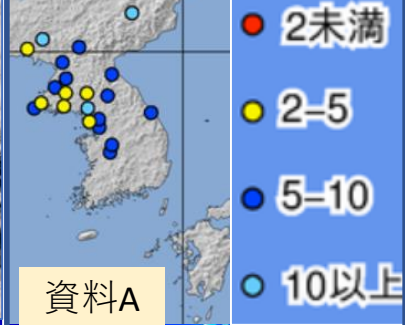
エアロゾルの広がりも確認しました。資料C・D。3月5日の様子をひまわり8のトゥルーカラー再現画像で確認しました。資料E。
黄砂は、資料A・B・C・Eで確認できます。

気象庁は3月5日、中国地方5県で黄砂を観測したとの報道がありました。気象庁の黄砂関係のウェブサイトで黄砂の飛来を確認しました。資料A・B
センチネル5Pで、黄砂等を調べました

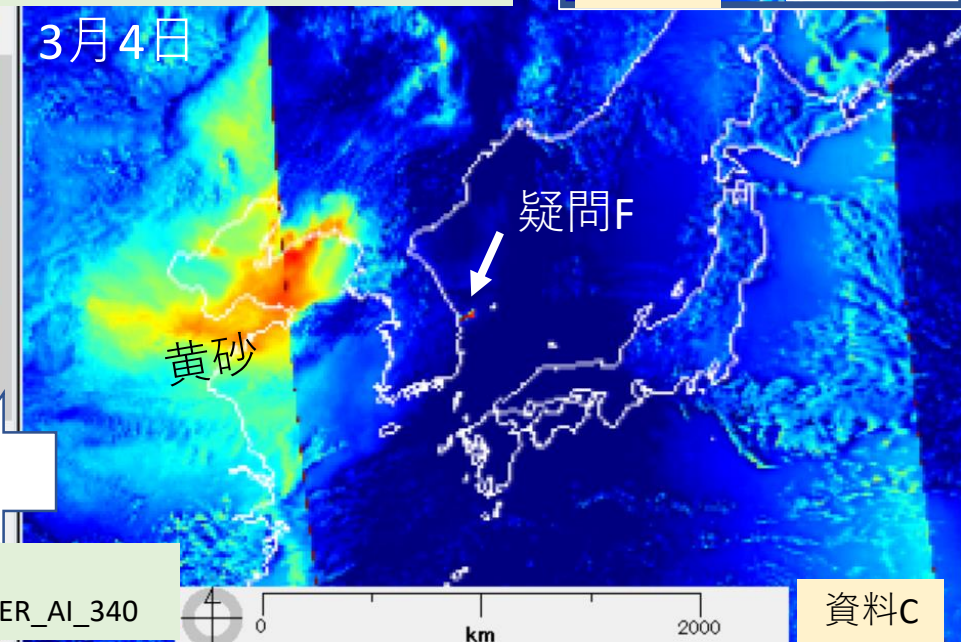
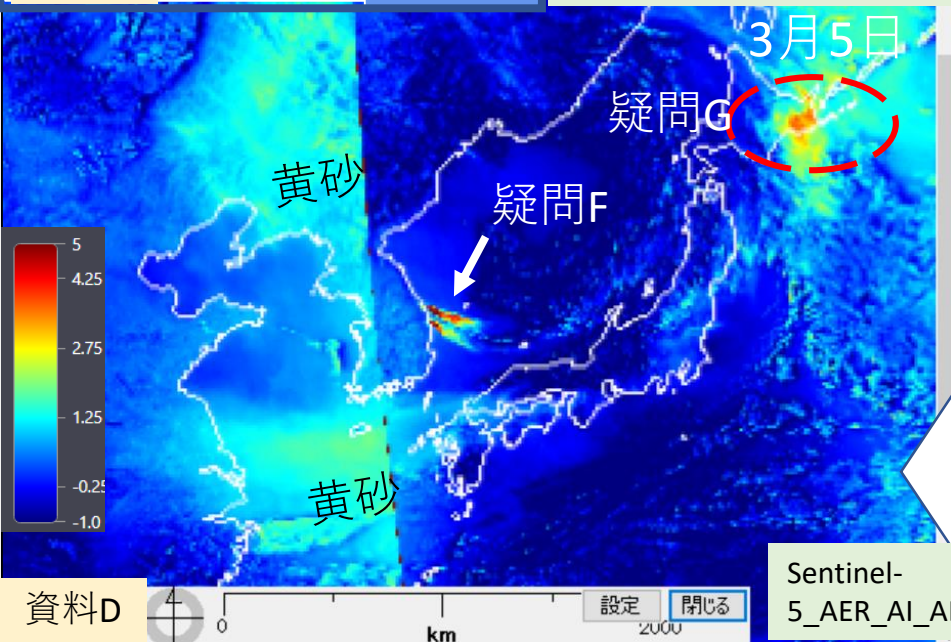
黄砂観測地点と視程



黄砂観測地点と視程



ひまわり黄砂監視画像 (トゥルーカラー再現画像)

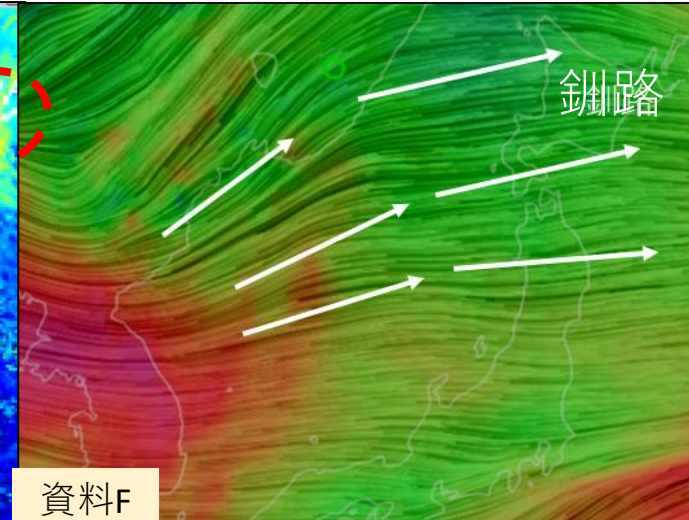
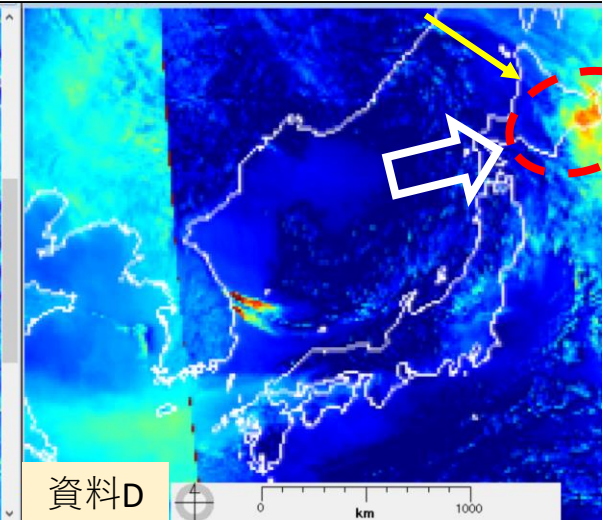
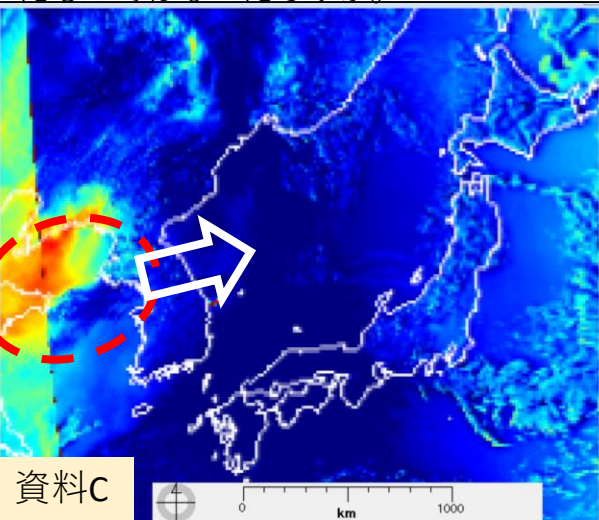


Sentinel-5_AER_AI_AER_AI_340

疑問G

北海道東部の高濃度エアロゾルは、黄砂が移動したのではないだろうか。

資料Fは3月4日20:00の上空5500mの風の様子です。(earth.nullschool.net)
北海道東部に向けて強風が吹いています。センチネル5 Pの観測は雲の上のようすです。黄砂の観測は地上での観測です。



資料C

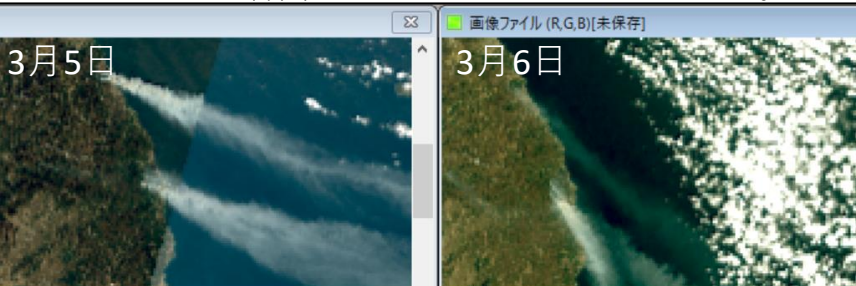
資料D

資料F

疑問F

疑問Fは大規模な韓国の山火事によるエアロゾルです。

春先には日本でも山火事が多いです。韓国の大規模山火事がはやく鎮火(ちんか)消えることを祈念します。



ほぼ毎日観測しているセンチネル3

縮尺を明記している画像は、EOブラウザからダウンロードしたデータを、衛星データ分析ソフトEISEIで整理しました。



2022-03-05センチネル2
山火事の規模は大きいようです。3月8日も続いています。

